

平成 29 年度模擬保育室・保育相談実践室利用報告

1. 利用状況

模擬保育室・保育相談実践室の運用も平成29年度で5年目を迎える。下表のとおり、利用機会は大きく分けて、①授業の際の教室、②子どもや保育者をむかえての行事の会場、③その他の3つに分けられる。

①の「授業」での利用は当初2年生の専門科目に限られていたが、教育心理学のような1年生の専門科目や児童文化のような選択科目にまで利用する科目が多様化した。

模擬保育室に関しては児童文化が当初計画で利用が目論まれていた科目であり、一応の計画が実現したことになるが、選択科目のため利用者数が少なく、学習成果を十分あげているとは言えない。また当初計画の目玉であった教育原理のような講義系科目での利用が授業担当者の他出などの影響もあって無くなってしまった。また保育内容などの専門科目の演習においても開講時期・授業人数や使い勝手などの理由から徐々に利用されなくなっており、授業で利用しやすい環境構成を研究工夫していくことが課題である。

保育相談実践室に関しては岡山学院大学の教育相談の授業にも毎年利用されるなど演習設備としての魅力を発揮している。

②の「行事」においては子育てカレッジ（社会貢献）、リカレント教育が開催され当初計画が実現維持されている。実施回数、参加人数ともに今のところはささやかな規模であるが、時代の大きな要請である幼児英語に取り組むなど内容的には前進している。

③の「その他」においては倉敷児童館の館外活動に会場を提供するなど社会貢献している。開催時間が平日の日中なので学生は授業中のため関わることはできないが、倉敷児童館は子育てカレッジの委員でもあり、カレッジ関係者主催の企画にも協力することは重要と考える。また教員免許状更新講習の演習にも利用しているが、保育の現場で働いている数多くの同窓生が母校での講習を強く希望しており、その数は今後益々増えていくので一種のリカレント的な利用と言える。



「児童文化」 雛人形の飾り付け方を学ぶ

（授業における利用）

科目	担当	日時等	室	内容および人数
岡山短期大学				
保育実習指導Ⅱ（2年前期）	山本	4/13（木）1限 4/20（木）2限	模擬保育室	絵本の読み聞かせについて。実施する際の要領（場所、座り方、始め方、等）を理解したうえで、導入部分から実演してみた。 履修者81名
教育心理学（1年前期）	井頭	6/15（木）3・5限 7/6（木）3・5限	模擬保育室・保育相談実践室	個人差の理解について（乳幼児の発達に関するテスト、遠城寺式幼児分析的発達検査法）、特別な支援を要する子どもたち（個別式知能検査、WISC-IV知能検査）などに関する演習を行った。 履修者78名

保育相談支援 (2年前期)	井頭	4/28、5/12、5/19、5/26、 6/2、6/9、7/14 (いずれも 金2・3限)	保育相談実 践室	保育相談支援の実例と実践。学生が保護 者役と保育者役に分かれて練習する。題 目はアレルギー、排泄のしつけ、発達に 課題のある子ども、子育て不安を持つ母 親、乱暴な子、給食を食べない子、育児 ノイローゼについて等。履修者81名
児童文化(1 年後期)	尾崎	11/17(金)1限	模擬保育室	お雛様の飾り付け方の研究を行った。5 段飾りのすべての人形を手にとって装 束と持ち物をつぶさに観察し、その由来 を考察した。 履修者1名
岡山学院大学				
教育相談(岡 山学院大学の 授業)	中西	6/2、7/11、7/8(いずれも 火1限)	保育相談実 践室	カウンセリングから学ぶ教育相談―実 践編―。演習を通して、相談技術を学び、 その技術の意義を理解した。 履修者4名

(行事における利用)

行事	担当	日時等	室	内容および人数
はじめての幼 児英語(子育 てカレッジ連 携講座)	濱田	6月10日(土) (9:30~10:30)	模擬保育室	はじめて英語にふれる子どもたちが、身の まわりの英単語に親しむことができる活動 を行った。 受講者7名
リカレント教 育(ホームカ ミングデーの 日に)	浦上	10月21日(土) (14:00~15:00)	模擬保育室	保育現場で利用できる「言葉遊び」と「言葉 遊び絵本」を紹介し、参加者にも実践して いただいた。 受講者8名

(その他の活動における利用)

活動	担当	日時等	室	内容および人数
倉敷児童館の 館外活動	濱田	12/6(水)1000~1100	保育相談実 践室	子育てカレッジの委員である倉敷児童 館の親子向け講座が募集した親子が来 学し、おもちゃを使って自由遊びを楽 しんだ。
教員免許状更 新講習 年中行事と園 行事(幼児の 教育活動にお ける)	尾崎	11月18日(土) 4時限のうち第3時限目 (1300~1430)	模擬保育室	演習(雛人形を手にとって飾り付けなが ら歴史・民俗的視点から考察し、様々な 発見をした) 受講者15名
教員免許状更 新講習 年中行事と園 行事(幼児の 教育活動にお ける)	尾崎	11月18日(土) 4時限のうち第4時限目 の前半(1440~152 5)	模擬保育室	演習(武者人形を手にとって飾り付けな がら歴史・民俗的視点から考察し、様々 な発見をした) 受講者15名

2. 利用の成果と今後の課題

2-1. 設備に関する学生の期待度

下記は平成28年度入学生に対して第2学年終了時に行ったアンケートの自由記述からの抽出である。記述内容から模擬保育室・保育相談実践室が当初計画で目論まれた通りの成果をあげていることを示すものがある一方で、やはり模擬保育室が授業においてあまり利用されていないことに対して不満を感じているものもあり、大きな問題である。今後、授業において利用され成果をあげていくには各担当教員が模擬保育室の利用方法を研究し工夫するしかない。

模擬保育室・保育相談実践室についての感想（第2学年終了時）

【満足度をあらわすもの】

- ・実際にありそうな相談についてどう対応したらいいのか学ぶことができたので良かったです
- ・実践的な体験をすることができてよかった
- ・まだ現場での実践がないとき、子どもの目線に立って物を見れるのでいいなと思いました
- ・保育相談室では箱庭を体験したり、模擬保育室では実際の保育園みたいで良い経験になりました
- ・玩具などの参考があり、分かりやすく学べた
- ・実習で役立った
- ・とてもたのしかった。人前に出ることがこわくなくなった

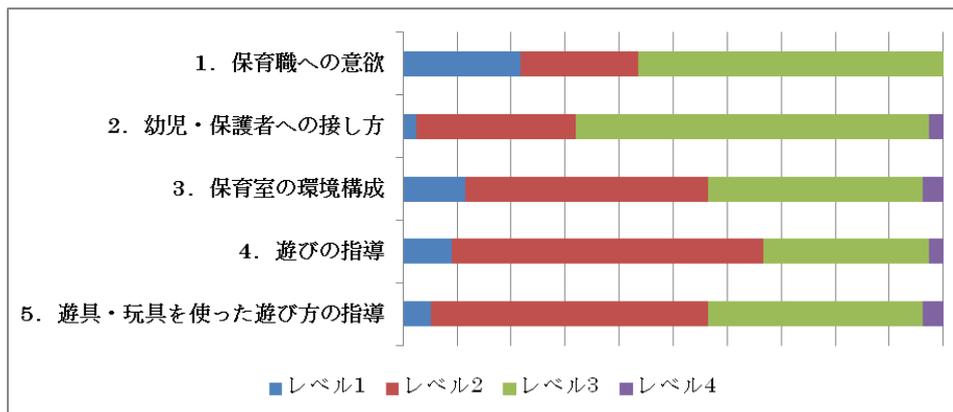
【不満度をあらわすもの】

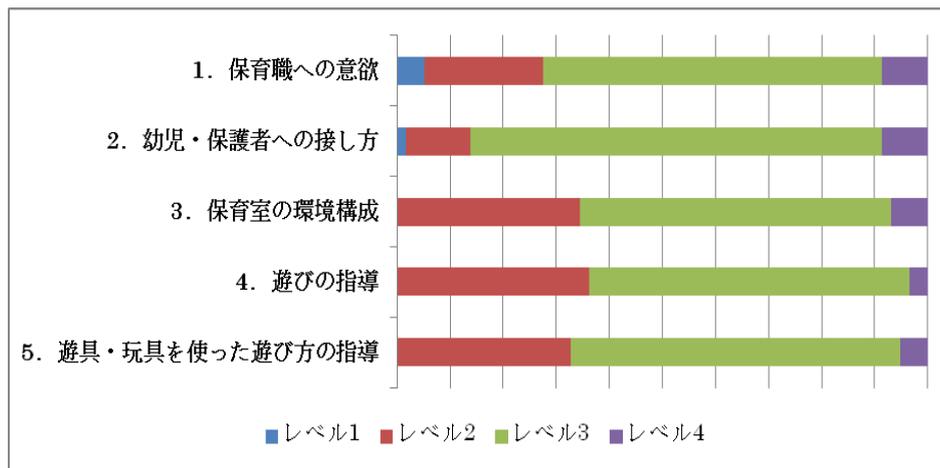
- ・ほとんど使用したことがなく、あまり記憶に残っていません。もっと授業で利用してほしいかったです
- ・せっかくキレイなお部屋なのに、あまり利用する機会がなく残念です。入学する前は、その部屋をもっとたくさん利用するのだと思っていました
- ・実習前だけでなく、もう少し前から、使用すればいいと思います

2-2. 学習成果について

下のグラフは平成28年度入学生を対象として第1学年終了時・第2学年終了時に、模擬保育室・保育相談実践室の利用が保育専門職に就くための学習に役立ったかどうかを調査した結果である。第2学年終了時において全ての項目について「実感力を通じて実践力が獲得されたことを意味する」レベル3が優勢を占めており、第1学年終了時より第2学年終了時の方がレベル3が増えているので模擬保育室・保育相談実践室の利用が学習成果につながったことは明らかである。また「実感力は知識的理解のみに影響し、実践力にまで達してないことを意味する」レベル2も項目3・4・5においては、第1学年終了時は4割～5割を占め、第2学年終了時においてもなお3割以上を占めているので「遊びの環境構成や指導法」といった高度の実践力の育成は容易ではないことがわかる。今後は全項目においてレベル4が増えることが理想であるが、そのためには学生が第1学年から第2学年にかけて授業や行事で模擬保育室・保育相談実践室の利用を重ねることによって専門的技術や知識を身に付けていき、保育職に就く意欲や自信を高めることが必要になる。今後益々、担当教員が設備の利用法を研究工夫していくことが求められる。

平成28年度入学生 第1学年終了時





【参考】

上記グラフに関する詳細 第1学年終了時

模擬保育室・保育相談実践室「保育実感力の獲得」学習成果 ルーブリック(自己評価、1年集計結果)			H29.3 自己評価実施 回答数
1. 保育職への意欲	レベル1	保育職への関心を持っているが、卒業後の進路は確定していない。	17
	レベル2	保育職への意欲は持っているが、学習への取り組みが十分とは言えない。	17
	レベル3	保育職への意欲を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢がある。	44
	レベル4	保育職への強い意欲を持ち、学習面でも生活面でも他者の模範となることができる。	0
2. 幼児・保護者への接し方	レベル1	幼児・保護者への適切な接し方に関心はあるが、理解していない。	2
	レベル2	幼児・保護者への適切な接し方は一定理解しているが、自ら積極的に関わることが少ない。	23
	レベル3	幼児・保護者への接し方に不十分な点はあるが、積極的に関わろうとしている。	51
	レベル4	幼児・保護者に対して適切な接し方をし、他者の模範となることができる。	2
3. 保育室の環境構成	レベル1	保育室の環境には関心はあるが、適切な環境構成の仕方は理解していない。	9
	レベル2	保育室の適切な環境構成を一定理解しているが、環境を整えることはできない。	35
	レベル3	保育室の適切な環境を考え、不十分ではあるが自らの力で環境を整えられる。	31
	レベル4	保育室の適切な環境を整え、他者の模範となることができる。	3
4. 遊びの指導	レベル1	幼児と遊ぶことはできるが、幼児の年齢に合った遊びがどのようなものかは理解していない。	7
	レベル2	幼児の年齢に合った遊びを理解しつつあるが、指導はできない。	45
	レベル3	幼児の年齢に合った幾つかの遊びを指導できる。	24
	レベル4	幼児の年齢に合った様々な遊びの模範となることができる。	2
5. 遊具・玩具を使った遊び方の指導	レベル1	遊具・玩具に関心はあるが、遊び方を理解していない。	4
	レベル2	遊具・玩具を使った遊び方は理解しているが、幼児の遊びの指導はできない。	40
	レベル3	遊具・玩具を正しく使って、幼児に幾つかの遊びを指導できる。	31
	レベル4	様々な遊具・玩具を正しく使って幼児に遊び方の指導を実施し、他者の模範となることができる。	3

上記グラフに関する詳細 第2学年終了時

模擬保育室・保育相談実践室「保育実感力の獲得」学習成果 ルーブリック(自己評価、2年集計結果)			H30.3 自己評価実施 回答数 58人
1. 保育職への 意欲	レベル1	保育職への関心を持っているが、卒業後の進路は確定していない。	3
	レベル2	保育職への意欲は持っているが、学習への取り組みが十分とは言えない。	13
	レベル3	保育職への意欲を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢がある。	37
	レベル4	保育職への強い意欲を持ち、学習面でも生活面でも他者の模範となることができる。	5
2. 幼児・保護者 への接し方	レベル1	幼児・保護者への適切な接し方に関心はあるが、理解していない。	1
	レベル2	幼児・保護者への適切な接し方は一定理解しているが、自ら積極的に関わることが少ない。	7
	レベル3	幼児・保護者への接し方に不十分な点はあるが、積極的に関わろうとしている。	45
	レベル4	幼児・保護者に対して適切な接し方をし、他者の模範となることができる。	5
3. 保育室の 環境構成	レベル1	保育室の環境には関心はあるが、適切な環境構成の仕方は理解していない。	0
	レベル2	保育室の適切な環境構成を一定理解しているが、環境を整えることはできない。	20
	レベル3	保育室の適切な環境を考え、不十分ではあるが自らの力で環境を整えられる。	34
	レベル4	保育室の適切な環境を整え、他者の模範となることができる。	4
4. 遊びの指導	レベル1	幼児と遊ぶことはできるが、幼児の年齢に合った遊びがどのようなものかは理解していない。	0
	レベル2	幼児の年齢に合った遊びを理解しつつあるが、指導はできない。	21
	レベル3	幼児の年齢に合った幾つかの遊びを指導できる。	35
	レベル4	幼児の年齢に合った様々な遊びの模範となることができる。	2
5. 遊具・玩具を 使った遊び方 の指導	レベル1	遊具・玩具に関心はあるが、遊び方を理解していない。	0
	レベル2	遊具・玩具を使った遊び方は理解しているが、幼児の遊びの指導はできない。	19
	レベル3	遊具・玩具を正しく使って、幼児に幾つかの遊びを指導できる。	36
	レベル4	様々な遊具・玩具を正しく使って幼児に遊び方の指導を実施し、他者の模範となることができる。	3